まんだら

第８４号
発行所
陽光山　龍泉寺
６９７-００２６
浜田市田町１８-１
TEL:0855-22-1937
FAX:0855-23-0934
http://ryujukai.com

日月燈明如来

私達の暮らす地球は、想像もつかないくらい広大な宇宙の中で、太陽を中心に回っている惑星のひとつです。現代宇宙科学の説によれば、約137億年前のビッグバンという宇宙開闢（かいびゃく）以来、およそ80億から90億年を経て、約50億年前に私達のいる太陽系と地球が形成されたといわれています。

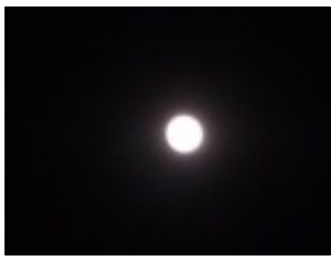
それ以来50億年という気の遠くなるような時間の中で、地球は自転しながら太陽の周りを1年かけて公転し、月は満ち欠けを繰り返しながら地球の周りを回っています。地上のあらゆる場所で太陽は1日の始まりを告げ、月は闇夜を照らしています。

お釈迦様がインドに出現される前の遠い過去に、2万回にわたり繰返し出現された仏様の名は宇宙の神秘を暗示するが如く日月燈明如来（にちがつとうみょうによらい）という仏様です。その無数の仏様の説かれたみ教えとは、実はお釈迦様が八十年のご生涯の晩年八ヶ年に、インド霊鷲山で説かれた「妙法蓮華経」すなわち法華経なのです。

法華経の教えとは私たちが日々暮らしている、様々な事件や自然災害など苦しみや悲しみが絶えないこの世の中にあって、みんなで力を合わせて明るい平和な世界、つまり浄土を実現して行こうという仏様の光明に照らされたみ教えなのです。

合掌

インド霊鷲山に昇る朝日



夜空に浮かぶ満月

第十回夏休み寺子屋ご案内

本年第十回となる夏休み寺子屋を開催いたします。今年のテーマは「いのちの不思議」お釈迦様の物語から子供たちと命について考えたいと思います。たくさんの子供たちの参加をお待ちしています。

記

一、日程　7月30（月）～31（火）（一泊二日）
一、対象　小学生男女
一、会場　龍泉寺
一、参加費　一〇〇〇円

※参加ご希望の方は申込のパンフレットをご請求下さい。

いのちと安全安心の日に　市民と学生でキャンドルナイト　10/26

平成二十一年の十月二十六日、島根県立大学の一回生、平岡都さんが行方不明となりその後遺体の一部が広島の山中で発見されるという悲しい事件が起きました。あれから三年の月日が流れました。元気であれば四回生として卒業準備に追われていた筈です。

この事件後、龍泉寺を会場に毎月会合を重ねている**「浜田市いのちと安全安心の日を明るく照らし隊」**では浜田市がこの事件を忘れないように制定した**「浜田市いのちと安全安心の日」**となる十月二十六日の夕方に、琵琶町の万灯山公園と県立大学のキャンパスを結んで街を明るく灯すキャンドルナイトのイベントを計画しています。皆さんの協力参加をお願い致します。

〈七月の照らし隊〉
日程　七月二十日
時間　夜七時半より
場所　龍泉寺本堂
※どなたでも参加を歓迎いたします！

イベントのイメージ

清正公夏祭りご案内

本年も真夏のイベント、当山恒例の清正公夏祭りがやって参ります。去る六月二十三日、このお祭りを盛り上げ、成功させる為の企画、打合せ会が十八名の方にご出席いただき行われました。

みなさん一人一人のご協力により当山のお祭りも運営する事が出来ます。当日、家族揃っての参詣はもちろん、事前の準備にもどうかご協力頂きますよう、よろしくお願申し上げます。

〈準備・片づけの日程〉
七月八日　午前九時～　仏具お磨き
七月二五日夕方五時より　舞殿設営
七月二七日午前九時～　お花と清掃　幕張りなど
七月二九日早朝六時～　舞殿片付け

記

一、日時　七月二十八日　夜七時より
二、内容　報恩法要　石見神楽　特別加持（法要後）

※特別加持は一家族千円です。寄付帳もしくは帳場にてお申し込み下さい。

おねがい

清正公夏祭り開催にあたり、檀信徒の皆様には、地区の世話人の方を通じてお祭り運営の為の寄付をお願いしています。お祭りを盛大に奉修する為の浄財です。おいくらでも結構ですのでご協力を宜しくお願い申し上げます。　合掌

7月の唱題行

月　日　7月13日（金）
時　間　夜7時より8時まで
場　所　龍泉寺本堂
※浜田高校柔道部の生徒も参加してくれます！

「法華経を学ぶ」
月　日　7月8日（日）
時　間　午後3時より
譬喩品第三④

龍泉寺永代供養廟 あんのん

龍泉寺の境内墓地、歴代聖人廟の向かいに、当山檀信徒を対象とした永代供養廟「あんのん（仮称）」を建立しようと計画しています。あらゆるご相談に応じたいと思いますので、ご遠慮なくお問合せ下さい。

廟のイメージ図

編集後記

政治の世界で混迷が続いている。我が国の財政再建の為に、命を懸けたという首相の決断により、消費税は段階的に引き上げられることになりそうだ。税金が上がって喜ぶ者は誰もいないが、我が国の将来を考えれば、痛みを伴うという改革もしかたないのか。

さて仏法の立場から言えば、この度の首相の決断は善に非ず、悪に非ず。善くも悪くも無い。要は国民一人一人が差し出す税金という布施の行為と、為政者が如何に使うかという智慧によりこの国に暮らす人々の生活と、ひいては世界の未来が決まるのである。

再拝